

## 創造美術会 小史

☆1947（昭和22年） 7月、原創三郎、新野歆一、保科米三、千木良富士、山口力雄、高橋正、田中稻三、松本茂雄、牧野醇、青樹官三、坂口辰己、西東重義、樹下行雄、下田範次、杉浦勝人等の発起人により、創造美術会を設立する。同年11月、その発会展を日本橋高島屋画廊において開催。

☆1948（昭和23年） 第1回展 上野・東京都美術館にて開催。陳列点数93点、出品者数35名。10月、日本橋高島屋にて小品展。

☆1949（昭和24年） 第2回展 東京都美術館 太平洋、新構造、朱葉会との連立展。写真部を設立。

☆1950（昭和25年） 第3回展 東京都美術館 連立展。新水彩画会を招待。太平洋画会と袂別。

☆1951（昭和26年） 第4回展 東京都美術館 連立展。

☆1952（昭和27年） 第5回展 東京都美術館 連立展。

☆1953（昭和28年） 第6回展 東京都美術館 連立展。この年より応用美術部（現染織画部）を設立。

☆1954（昭和29年） 第7回展 東京都美術館 連立展。会則できる。この年の秋、地方展第1号として沼津展を開く。支部発足。

☆1955（昭和30年） 第8回展 東京都美術館 連立展。童画部を新設。

☆1956（昭和31年） 第9回展 東京都美術館 連立展。機関紙「創造」第1号を発刊。童画部廃止。

☆1957（昭和32年） 第10回展 東京都美術館 連立展

☆1958（昭和33年） 第11回展 東京都美術館 連立展。日本画部を設立。

☆1959（昭和34年） 第12回展 東京都美術館 連立展。出品者数69名。

☆1960（昭和35年） 第13回展 東京都美術館 連立展。出品者数68名。華道部を新設したが1回で廃止する。銀座ギャラリーで街頭展。釜石支部発足。